

まさゆき新聞

M A S A Y U K I S H I N B U N

編集・発行：まさゆき倶楽部事務局

まさゆき倶楽部事務局 東興華空間 目黒区柿の木坂3-3-1 TEL03-3414-7562 FAX03-3410-5130

中華レストランで和気藹々の夕食会。
7月29日(日)夕方「時からのコンサート」までたっぷり時間がある。
 午前中、雅之さんと一緒にホテルを出て、市バスに乗ってオウルンサロへ。音楽祭の会期中、木野さんたち出演音楽家が宿泊されているという、会場から5キロほど離れたプチホテルへ私たちも立ち寄りしました。雅之さんは宿舎からバイオリンをとってこれる背中。道々、いろいろ音楽談義を聞かせていただきながら、会場までの林に添った遊歩道をゆっくり歩いて行きました。
 この小道の散歩が、一番フィンランドの田舎の雰囲気を感じ取れた場面だったかもしれません。
 ちょうどお昼どきに到着して、音楽祭会場のロビー脇にあるカフェテリアで、そこのおばさんが作られたというサーモンとカリフラワーのクリームソース、サーモンとブロッコリーのトマトソース煮込みなど、ご自慢の4種類のスープからチョイスしていただきました。

館野泉ご夫妻、ハンサムな息子さんのヤンネ君、ピアノのシエンクさんとアコーディオン奏者の御喜美江さんご夫妻などいろいろ。:
 さんご夫妻などいろいろ。:
 くゆつくり珈琲休憩をとって、明日の昼一時半スタートの演奏会場が違うというオウルンサロ・コミュニティーハウスまで地図を片手に歩いて下見。方向音痴の私など、ひたすら人の背中について行くだけ。まったく知らない所なのに地図を片手に辿り着ける方がいらつしやったのには感服。
 その後、バスで街に戻ってショッピングなどに三々五々散って来ました。
 オウルンサロの日ともなると皆さま大分慣れて来たようで、それぞれの行動半径も広がってきたようです。自転車も借りて市内を縦横に走り廻る、市内バスに乗る etc。
 私たちのホテル、ホリデイ・インは、オウル大聖堂と道を挟んですぐお隣り。カセドラルの高い塔は市内のどこからでも見えますから、迷子にな



赤と青のTシャツに金色の10周年記念

る心配などないのです。>
 今夜は、新田ユリさん指揮の「チェンバー・オーケストラ・ラ・テンペスタ」の演奏によるハイドン、モーツアルト、メンデルスゾーンという豪華版プログラム。
 ところで、このオウルンサロ音楽祭は、今年が10回目という事で、いろいろ10周年記念グッズがロビーに並んでいました。私たちは、赤と青、二色用意されたTシャツに金色の10thとプリントされたものを着込んで行きましたが、日本ならちよつと恥ずかしいかな?でも、オウルンサロではそれは廻りに溶け込んでちよつともおかしくない! オウルンサロへ戻り、遅い時間にはスペイン料理のレストランへ。ぐりぐり目玉のジェスチュアがオーナーの赤シャツ氏、突然現れた日本人たちの赤シャツ軍団にびっくりして大張り切り。帰りに店内で写真をお店に飾っておきます」とツアー

オウルンサロ音楽祭

7/26(木)

一昨日8年ぶりに訪れたフィンランドの地に着いた時、数々の楽しかった思い出がみるみるうちに蘇ってきてヘルシンキからオウルに着いた時にはその思いはますます込めあげてきました。空港から5分程で着くオウルンサロの村は何ら変わることなく私を迎えてくれたのでした。その日はゆつくりと過ごし翌日は早速シユールベルトのリハーサル、しかしまづ着いて驚いたのは最初にバッハの無伴奏、しかもこの記念すべき10周年の音楽祭のオープニングコンサートトのトップバッターをまかされた事でした。私の他は、大巨匠、館野泉さんとエルツキ・ラウテイオさんによる末吉、コダーイ作品でした。
 前日、つまり私の到着の翌日に日本からまさゆき倶楽部の同行ツアーの面々がやってきてコンサートでのこれからの私への強力な応援体制が整いました。総勢二人。
 初日のコンサートは無事終わり、その日はそれから一行が滞在しているオウルのホテルに移動、楽しい夕食を取り結局同じホテルに宿泊した

7/27(金)

のでした。
 そしてその日の夜、たった一つの私のメガネが割れて以後無しで過ごす事になりました。
 今日と同行ツアーのメンバーは北のロバニエミに観光。私はコンサートの出演はなく一日リハーサルで過



現地新聞に掲載される

ごす。久しぶりの仲間、といっても今年8月に西宮で行われたプレコンサートでもブラームスは一度やってるので練習は確認程度で進んだ。名手たちのアンサンブルは技術的なゆとりもあるのでやっていて楽しい。又、今回初めて共演するギターのペトリ・クメラさんとはバガニーニ

7/28(土)

今日はいよいよブラームスのピアノ四重奏曲のコンサートの日である。この曲は先立つ事8月の西宮でのミニオウルンサロコンサートで一度共演しているので少しゆとりを持って挑めた。ウイオラのウツラの調子が今一つ、というより彼女の出演が著しく多くかなり疲れている様なので練習は軽めに終えた。まあこのメンバーなら大丈夫「集中力」で乗りきるのである。
 夕方「時よりコンサート。プログラムはオール・ブラームス「チェロソナタ、歌曲、いづれも素晴らしい演奏であった。会場はかなり客が集まって楽しんで盛り上がりつつあった。

アノ、ウ、イオラ、チェロ各々が名手揃いだとこんなにも室内楽は楽しいのかとあらためて感じさせてくれたコンサートであった。

夜はこの音楽祭で本当にお世話になっている地元のレッツパマキ家でのガーデンパーティー、雨が心配されたが何とか降らずに済んだ。

楽しいパーティーも半分に私は同行ツアーのメンバーの待つオウルの中華料理屋に直行、楽しい夜を皆と過ごした。

7/29(日)

いよいよ今日はメンデルスゾーンの協奏曲第一番を新田ユリさん指揮のオーケストラ・ラ・テンペスタと演奏する日である。思えば8年前にはウ、イウ、アルデイの四季を共演、その時のメンバーも多くいて思い出話も懐かしい。今日は翌日のギターとのリサイタルのリハもあり一日忙しい。それでもこうして沢山の仲間と短い期間に多くの曲を自然に囲まれた中で演奏する事は日頃の忙しさも忘れさせてくれるほど本当に楽しい物である。

このメンデルスゾーンが幼少12歳で書いたとされる協奏曲は今まで

あるインドア・マーケットのほか、広場には青空店舗がずらり。果物、野菜、花、衣料品、地元のアクセサリ、フィンランドのお土産屋さん、手づくり小物ショップ、周囲には天幕造りのカフェやレストランがぎっしり。美味しそうな匂いにつられ、そこから好きなものを選んで、土地の方々と並んで外でのお昼はまた格別のものがありました。

夕方、音楽祭へ出かける前にちょっとした出来事！

オウル新聞の記者さんが音楽祭主催事務局から聞いて取材に来ているからとの連絡あり。

ロビーに若い女性記者がにこやかに待っていて、遠い日本からわざわざ応援ツアーを組んで来たということがめずらしいらしく、まさゆき倶楽部のことを聞きたいということ、カメラマン氏を連れてやってきていました。ホテルの前に並んでカメラマン氏に煽られ大笑いしている一行の大きな写真入で、翌7月27日のオウル新聞の芸術欄に記事が！フィン語で内容が読めないのは残念！一体何を聞かれ、何をしゃべったのやら時差ぼけ中のインタビューにて忘却の彼方です！

何度も演奏する機会があり私は大好きな曲の一つである。もちろん有名な方も素晴らしいが私はこの作品を弾く機会が巡る度に幸せと本当に天才の作品である事を感じずにはいられない。

コンサートは無事終了。素敵な夜であった。

7/30(月)

今日は昼にいつものホールから徒歩10分位の所にあるクンナタロという所にてギターのペトリ・クメラさんとリサイタルであった。今日も快晴。曲はバガニーニのチェントーネ・ソナタ、カンタービレ、ジュリアーニの変奏曲、そしてなぜかギター作品、タルレガのアルハンブラ宮殿の思い出、アルベニスのアストウリアスをつい先日少し指を怪我した彼に代わり私がウ、アイオリンソロで弾いた。会場は小さい所であったがまたたく間にいっぱい。プロダラムが無くなる程であった。館野先生も歯痛をおして会場に駆け付けて下さった。もつとも終演後すぐに歯医者に向かったが

実に楽しいコンサートの後はすぐに夜のシューベルトのリハ。今日も

忙しいがそれでも本当に楽しい時であった。短い間にいろいろなコンサートを行う事が出来、大変満足した。そしてこの度10周年を迎えたこの音楽祭が今後も末永く続く事を願い又、今までご尽力下さった館野泉先生に感謝する気持ちでいっぱいになった。

(木野雅之)

「オウルンサロ音楽祭」へ行って来ました

7月26日(水) 成田発12時、「まさゆき倶楽部」応援団の2人は、新機種のフィンエアに乗り6時間55分の快適な空の旅の後、ヘルシンキ・ヴァンター空港へ到着しました。国内線に乗り継いでオウル空港まで約1時間。今回はテロを警戒しても手荷物検査が厳しく、水の入ったペットボトルは小さくてもX。ヘルシンキか



らオウル行き国内線への乗り換えの時、フィン航空の機内食に付いていたアイスクリーム型プラ入りの小さなお水も「ZO！」と取り上げられたのには大びっくり。安心ではあるけれど、ここまではちよつとやり過ぎじゃないかしら？

7月26日(木) 午前中、市内をガイド

に、皆さんの案内で一回りの後、そっくりさんと名付けたユース・モラスなオウルのお巡りさん像がでんと控えている中央マーケット市場に到着。古いレンガ造りの倉庫の中に

さあ、オウルンサロへ。いよいよ音楽祭の第1日目の幕が開きました。オウル市郊外のカルチャーセンター。

第1夜は、この音楽祭・芸術監督の館野泉さん、木野雅之さん、エリック・ラウティオさんによる三重奏と、それぞれのソロ！高名なチェリストのラウティオさんとは、7年前、御茶ノ水のカザルスホールで感動して以来の出会い。随分とお年を召されましたが、そのとき聴いた曲と同じコダーイの無伴奏を再び…

くカルチャーセンターは多目的ホールのように、上に跳ね上げられているのはバスケットシート板。床から高い天井まで全てが木造り、演奏者も聴く側も同じ床の上というのも一体感があっていい雰囲気。音の響きも実に柔らかく優しく辺りに溶け



まさゆき倶楽部ツアー 現地新聞に取材される

を映かせました。外は白樺林が延々と続いているだけ、街なんて一体どこにあるのかしら！>

便局にはサンタやムーミングッズがあふれており、そこから世界中に12月到着のクリスマスカードが贈れ

（送れ）ます！ということと予約受付していただきました。はたして迷子にならずにちゃんとクリスマスに遠い日本まで届くでしょうか？

7月28日(土) 帰りもお昼は前夜特注の中華弁当、車内でいただく美味しさも格別。オウルへ戻り、今日のコンサートは少し早目の夕方6時スタートで、オール・ブラームスのプログラム。

木野雅之スケジュール 2007年4月～2007年9月

日	日時	公演名	場所	共演者	曲目
	4/8(日)14:00	日フィル第313回名曲コン	東京 オペラシティ	飯森範親(指揮)他	J・シュトラウス こうもり他
☆	4/10(火)19:00	リサイタル全国ツアー	静岡 毎日江崎H	依田正史(Pf)	プロッコ バールシエム他
☆	4/12(木)19:00		福岡 えーるピアク留米視聴覚H		
☆	4/15(日)19:00		山梨 甲府市総合市民会館芸術H		
	4/19(木)19:00	日フィル第589回定期	東京 オペラシティ	尾高忠明(指揮)他	モーツァルト 交響曲第40番他
	4/20(金)19:00	日フィル所沢支部創立20周年コン	埼玉 所沢キューブH	中谷郁子他	バガニーニ 弦楽四重奏曲第3番他
☆	4/22(日)14:00	リサイタル全国ツアー	長野 茅野市民館CH	依田正史(Pf)	プロッコ バールシエム他
☆	4/24(火)19:00		東京 東京文化会館小		
	4/27(金)14:00	日フィル国立高校第九	東京 府中の森	飯守泰次郎(指揮)他	ベートーヴェン 第九
☆	5/2(水)20:30	リサイタル	フランス アルルシャペルドゥメジャン	木野真美(Pf)	ヒンデミット ソナタ第1番他
	5/10(木)19:00	日フィル第590回定期	東京 オペラシティ	エリック・ハイドシェック(Pf)他	チャイコフスキー フランチェスカ・ダ・リミニ他
	5/11(金)19:00	日フィル第227回横浜定期	神奈川 みなとみらい	中村絃子(Pf)他	ハチャトリアン ガイーヌ他
	5/19(土)18:00	日フィル第314回名曲コン	東京 オペラシティ	渡邊一正(指揮)他	ムソルグスキー 禿山の一夜他
☆	5/23(水)18:30	日フィル東北公演	青森 市文化会館	菊池洋子(Pf)他	リムスキー・コルサコフ シェヘラザード他
☆	5/24(木)18:30		宮城 県民会館		
☆	5/25(金)19:00		埼玉 ソニック		
☆	5/26(土)16:00	リサイタルツアー	東京 世田谷美術館	式守満美(Pf)	ヒナステラ パンペアーナ他
☆	5/30(水)19:00	リサイタルツアー	佐賀 楽庵		
☆	5/31(木)19:00		佐賀 武雄温泉武雄市文化会館小H		
☆	6/2(土)19:00		福岡 あいれふH		
☆	6/3(日)13:00 16:00	男二人旅リサイタル シリーズ第1回「ハンガリーの旅」	大阪 モーツァルトサロン	吉山輝(Pf)	バルトーク ソナタ第2番他
	6/7(木)18:30	日フィルヤマハ・ガラコンサート	東京 オーチャードH	三浦友理枝(Pf)他	ラフマニフ 協奏曲第1番他
	6/9(土)18:00	日フィル第228回横浜定期	神奈川 みなとみらい	真田伊都子(Obo)	R・シュトラウス 協奏曲他
☆	6/10(日)12:00	発表会	東京 華空間	菊池晶子他	シベリウス 協奏曲他
	6/14(木)19:00	日フィル第591回定期	東京 サントリーホール	マルティン・ジークハルト(指揮)	ワーグナー ジークフリート 牧歌他
	6/15(金)19:00				
☆	6/16(土)18:30	リサイタル	兵庫 リパティかこがわ	渋谷香帆(Pf)	シマノフスキ ロマンズ他
☆	6/20(水)19:00	リサイタル	東京 杉並公会堂	仲道郁代(Pf)	スコット 蓮の国他
	6/21(木)～6/25(月)	スイス ツアー	スイス	山下泰資(Vc)他	
☆	6/28(木)18:45	リサイタル	愛媛 松山市民会館	木野真美(Pf)	サラサーテ カルメン他
☆	7/2(月)14:00	男二人旅リサイタル	大阪 千中A&Hホール	吉山輝(Pf)	ファイカルメン他
	7/15(日)18:00	ルガーノQ日本全国ツアー	東京 カザルス	タマス・マイヨル(VI)他	ミヨー 世界の創造他
	7/18(水)14:00		東京 杉並公会堂		
	7/19(木)		秋田 大曲		
	7/21(土)		兵庫 西宮大谷美術館		
	7/22(日)		滋賀 琵琶湖フィガロH		
☆	7/24(火)～8/2(木)	フィンランド 10周年記念オウルサロ音楽祭	フィンランド	舘野泉(Pf)他	メンデルスゾーン 協奏曲第1番他
	8/3(金)～8/6(月)	セミナー	長野 蓼科		
	8/7(火)～8/9(木)	セミナー	北海道 定山溪		
☆	8/10(金)～8/12(日)	セミナー	北海道 女満別		
☆	8/17(金)	リサイタル	フランス クルーズ		
	8/21(火)～8/28(火)	セミナー	台湾 台北		
	8/31(金)19:00	トリオ ミンストレル日本ツアー	北海道 札幌ルーテルH	北住淳(ピアノ)他	ブラームストリオ第1番他
☆	9/3(月)19:00	リサイタル	北海道 札幌JR北海道本社	渋谷香帆(ピアノ)	イベール 白い小さなるぼ他
☆	9/5(水)18:45	リサイタル	東京 紀尾井H	山上有紀子(ピアノ)	原ソナタ他
☆	9/7(金)	しあわせを呼ぶコンサート	神奈川 宮前市民館	佐藤寛子(アルト)他	ベートーヴェン 第九他
	9/21(金)19:00	トリオ ミンストレル日本ツアー	熊本 人吉カルチャーパレス	小川剛一郎(チェロ)他	ドビュッシー ミンストレル他
	9/22(土)19:00	ソロリサイタル	熊本 多良木石倉交流館		
	9/29(土)19:00	トリオ ミンストレル日本ツアー	大阪 ザ・フェニックスH	北住淳(ピアノ)他	ブラームストリオ第1番他

雅之の留学

「雅之が高校三年のもうすぐ卒業というところ 突然大学には行かないでロンドンに留学したいと言いだした、それは在学中に来日されたロンドンのニーマン先生にレッスンを受けたとき 先生からロンドンに来るように進められたからだった、私はニーマン先生についてはほとんど知らなかったが 雅之は先生のレッスンをとても気に入ったようだった。」

「雅之がロンドンに行きたいといったとき 私は自分の高校時代のことがよみがえってきた それはただ音楽をやりたいばかりに途中で田舎の家を飛び出したからである、親子は似たようなことをするもんだなと思った、そして私は雅之の背中を押してやるべきだと思った。」

しかし私のときとは かなり事情が違っている、私は東京都の公立小学校の音楽専科教師でサラリーマンである、ところが長男 次男 長



「もっと早くこの企画ができていればそちらに行きたかったのに…」と言ってくれた、多くの「まさき倶楽部」の皆さまにはお詫びを、そして、この出遅れたツアーを万全に組み立ててくださった石原さん、最後まで暖かく見守ってくれた伊藤元子さんに心から感謝をしまし

った今回の旅も、「終わりよければすべて好し」と言いますけれど、フィランドの豊かな自然の中で音楽漬けになった毎日、よき旅仲間にも恵まれ、木野雅之さんと共に過ごしたたくさんさんの素晴らしい時間、どれをとっても最高の旅でした。雅之さんのご両親、叔母様ご夫妻、小さい頃から雅之さんを応援してこられたという皆さまと一緒させていだいた思い出に残る旅はこうして無事終了しました。

の上から見下ろした合唱広場の舞台には十万人が上られるとのこと。五年毎に世界合唱祭が開かれるのは、コーラスをなさる方の世界ではつとに有名で、憧れの場所なのだろう。8月2日(木)夕方5時のフライトまでたっぷり時間がありません。館野泉さんに以前案内された「シベリウス記念館」は自然が一杯でとつともよかったです。と雅之さんご推薦。バスを調べて、ヘルシンキ郊外の「Ankola」へ。シベリウスが晩年を過ごした家があるまま記念館として残されている所。行きはよい良い帰りは…の見本ばかりで、さあ大変！2300M 離れたバス停まで、これ1本しかないというバス向かって全速力で走ってストップを掛けて下さったお仲間がいて！全員無事乗車。かくて日本への帰国便に余裕で間に合います。感謝。

8月3日(金)無事に閑空着。この盛りだくさんの楽しい思い出が詰ま

う11時をとくに廻っていました。7月31日(火)午前中、それぞれ市内で最後のショッピングの後、オウル空港からヘルシンキへ飛び、着いて市内を半日観光。明日はエストニアのタリンへ向けバルト海クルーズの予定なのに嵐が来そう？との予報にどきどきしながらホテルのレストランで夕食。オウルから数時間かけて、特急列車でヘルシンキ到着の雅之さんも合流してお別れ夕食会になりました。日本ですぐコンサートが控えている雅之さんは、私たちより一日早い帰国です。

8月1日(水)一夜明けたら抜けるような青空！乗った高速船のなんと大きいこと！地階から9階まで基礎の黄金に輝くエレベーターで昇降が可能。船内には各階に船室ほか、レストラン、軽食スタンド、広い免税品売り場もあって買い物などしている内にドラが鳴り響き、バルト三国の一番北に位置するエストニアへ到着。首都タリンは落ち着いた感じの古都。待ち受けていたガイドさんの案内でタリンの市街を徒歩でゆっくり廻り、半地下造りのレストランへ。午後の散歩で、ゆったりと開けた丘

年生の山形隼人君(二二)は「北海道は初めて。涼しい場所での練習できたよかった」と話していた。

木野さんは「静かな環境で集中できた。同じ釜の飯を食いながら、みんなで意見交換するなど有意義だった」と初の定山溪せみなーを総括した。

女 次女と所得に似合わず四人の子
 沢山で一馬力である、ただでさえ月
 ずきの生活が大変なのに、留学とな
 るとそれ相当の仕送りもしなければ
 ならないだろうと思つた、しかしも
 ともと楽天的な私は何とかなるだろ
 うとあまり心配はしなかった、先ず
 は雅之の希望を
 実現させてやる
 うと思つた。

ロンドンで
 はニーマン先生
 のいるギルドホ
 ール音楽院で席
 を空けて待つて
 もらつた、入学は
 九月なのでそれ
 まで近くのイギ
 リス人英会話教
 師のパーケット
 さんについて会
 話の勉強をして備えた。



ンが食べたいといったらしく、本
 当にバケツを買つてきてプリンを作
 出したといつてその親に止められ
 たという話は後で聞いた、今日の体
 形の下地はそのころから始まつて
 たようだ。

親戚や知人からお祝いだとい
 つて金一封が送られて
 くるのには驚いた、家
 内の母親からも送ら
 れてきた、収入がある
 わけでもないのにか
 なりのお金をいただ
 いた、その母親は雅之
 に会うのを楽しみに
 していたが、今年の
 一月九十四歳で新年
 早々に旅立つて言
 った。

20代 ロンドン
 思いがけない人
 からも親切にして
 いただいた、中
 でもありがたく思
 い出すのは、私
 たちが結婚前家
 内のアパ
 ートの近くに
 住んでいた、音
 楽の好
 きな大学生の
 友人である、彼
 とどう
 して気が合つた
 のか思い出せな
 いが
 以来今日に至る
 まで親しくして
 いる。
 そのころ彼も大
 学を卒業して科
 学技
 術庁に勤め、結
 婚して一サラー
 マ

ンだった。

彼は私たちに分厚い封筒を渡し
 て、これを留学の費用の足しにして
 といった、あまりにも高額だった
 めに事情を聞いたら、彼は遠慮が
 ちに自分が母子家庭で大学に行け
 うになかったとき、叔父さんが大
 学の費用は私が出すといつて全額
 してくれて私は無事大学を卒業す
 とができた、ということでも私
 れ誰かが困つたときは役に立ちたい
 と思つていたということだった。

(木野慶三)

**北海道ヴァイオリン
 サマーセミナー**

日本フィルハーモニー交響楽団コ
 ンサートマスターのバイオリニスト
 木野雅之
 さん(四
 四)＝東京
 在住の
 バイオリ
 セミナ
 ーが、札幌
 市南区の
 定山溪温
 泉で九日
 までの三日間開か



れた。
 受講
 生た
 ちは
 最終
 日、定
 山溪
 グラ
 ンド
 ホテ
 ルで、
 宿泊
 客や地域の
 人達を前に
 練習の成果
 を披露した。

木野さんは昨年
 から網走管内
 大空町で夏季セ
 ミナーを開催
 している。温
 泉街の新たな
 活用策を目指
 している定山
 溪観光協会(古
 川善雄会長)が
 協力し、定山
 溪でのセミナー
 が実現した。

札幌や東京、
 静岡、滋賀な
 どから小中学生
 や音大生ら八
 人が参加。定
 山溪温泉の宿
 泊施設を会場
 に、木野さん
 がマンツーマ
 ンのレッスンを
 行った。

発表会では、
 一人ずつ演奏
 し、パツハの「
 無伴奏パルテ
 イータ第三番」
 といったコン
 クールの課題
 曲などを披露
 した。

埼玉県上尾市
 から参加した
 中学一



食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、音楽の秋：秋の楽しみは色々。秋の始めの今月号では、まず音楽の秋に注目。今年第一回目となる「球磨川音楽祭」を木野雅之(木野祭)を記念して音楽、特に今回は楽器に関する演奏家や団体を訪ねてみました。また後半には、秋の音楽イベント情報も盛りだくさん、秋にステキな音楽を聞きに出かけませんか？



photo by Mr.kazuya Akashi

木野雅之のプロフィール

桐朋学園を経てロンドンのギルドホール音楽院に入学、名匠イヴァン・ニーマン教授に師事。卒業後はナタン・ミルシュタイン、ルツシェーロ・リッチ、イヴリー・キリスの巨匠に師事し研鑽を積む。83年、イタリア・ロドリゴ・リビツァー国際ヴァイオリン・コンクール優勝、84年、カール・フレッシュ国際ヴァイオリン・コンクール最高位獲得。その後数々の国際コンクールを制覇、以後本格的な音楽活動を開始。これまでロイヤル・フィルハーモニー管、ベルリン響、ロンドン・モーツァルト管、アルトゥール・ベニッシュ・フィルハーモニー管、ポーランド国立放送響、モスクワ放送響、ルーマニア国立シヨルジュエネスコ管等、世界一流のオーケストラと共演している。名古屋フィルを経て、93年、日本フィルのコンサートマスターに就任。現在ロンドンを本拠地に世界各国で活発な演奏活動を展開。使用楽器は恩師リッチより譲り受けたストリオニ1776年。

「球磨川音楽祭」を木野雅之(木野祭)のまさに中心人物である木野さんにインタビューしました。

「生まれは東京ですが、父が湯前町出身ということで、幼い頃短い期間でしたが湯前で過ごした時期もあります。今も従弟や親戚がたくさんいます。もつと父の里というところで度々里帰りがすることがあります。仕事柄、世界各国を旅し、どこもその国ならではの魅力がありますが、人吉球磨の変わらぬ風景には安心感と、人と人が通じ合う暖かみがあり、とてもリラックスできます。

この音楽祭は、まだ私が無名だった20年ほど前に多良木町の音楽教室で始まったコンサートがきっかけで、それから保育園などから小さなコンサートを少しずつ開かせていただくようになりまし。それが人吉の音を通じて大きなコンサートになり、毎年音楽祭としてやるようになりました。

「球磨川音楽祭 with 木野雅之(木野祭)」の詳しい日程につきましては、36ページをご覧ください。



「球磨川音楽祭 with 木野雅之(木野祭)」の詳しい日程につきましては、36ページをご覧ください。

平成19年(2007年)9月23日 日曜日

第1回 球磨川音楽祭

ふるさとに 映える調べ

初の球磨川音楽祭

ゆかりの演奏者ら 定演化に期待 人吉球磨

人吉球磨ゆかりのバイオリニスト木野雅之さん(左)が中心となってプロデュースした「第1回球磨川音楽祭」一人吉市の人吉カルチャーパレス

人吉球磨ゆかりのあるファンらが実行委員会(権頭亮代表)を作つて協力した。

木野さんは日本フィルハーモニー交響楽団のソロ・コンサートマスター。両親が湯前町出身で、自身も幼少時を過ごした。英国を拠点に活躍する傍ら、人吉球磨を度々訪れ、小学校などで演奏。昨年、市民を対象にした定期的な音楽祭の準備を進めてきた。実行委員は「一流の演奏を地元で観賞できる音楽会に育てたい」としている。

二十一日夜は人吉カルチャーパレスで、チェロの小川剛一郎さん(人吉)、ピアノの北住淳さん(人吉)とつくる「トリオ・ミニストレル」がブラームスやピアニナなど四曲を披露。アンコールでは人吉出身の音楽家・犬童球次作詞の「旅愁」も演奏した。二十二日夜は、多良木町の交流館石倉で木野さんのソロコンサートがあった。

木野さんは「雄大な自然や温かい人情など魅力ある故郷で演奏できるのは本当に幸せ。音楽を通じた交流を深めていきたい」と話した。(川崎浩平)

木野雅之オフィシャルサイト <http://www.masakino.com/>